

プレス発表

白黒防犯カメラに、簡単・低コストで、色（カラー）情報獲得能力を付与する方法

記録画像復元研究会では、白黒防犯カメラに、簡単・確実に、色（カラー）情報獲得能力を付与する方法を開発しました。色情報は、捜査において、きわめて重要であるが、白黒の防犯カメラも多く設置・運用されている。これら全国で運用されている白黒防犯カメラに、低コスト・簡便・確実に、色（カラー）情報獲得能力を付与できるようにしたことは、社会的に大きなインパクトがあることと考えます。

【プレス発表の概要】

日時： 12月11（月） 14：00－15：00

場所： 群馬大学工学部電気電子工学科 会議室（工学部3号館2階）

【プレス発表の内容】

- （１） 記者の方に好きな色の人形プレートを選んでもらい、白黒防犯カメラの視野内を動かしていただく。
（容疑者が歩き回っている犯行現場を模擬）
- （２） その様子は、防犯カメラシステム「代理EYE」で記録する。
――<ここまでは、犯行現場を模擬>――
- （３） 研究会スタッフが、専用ソフトを起動し、記録された画像の中から3枚を選び出し、同じ位置で（画面上で確認できるようになっている）、参照カラープレート（RGB3色）を置く。
- （４） プログラムの指示通りの作業が終わると、推定結果が画面にカラー表示される。

（１）－（４）の所要時間は、手早くやれば、3分ほどです。

【概要】

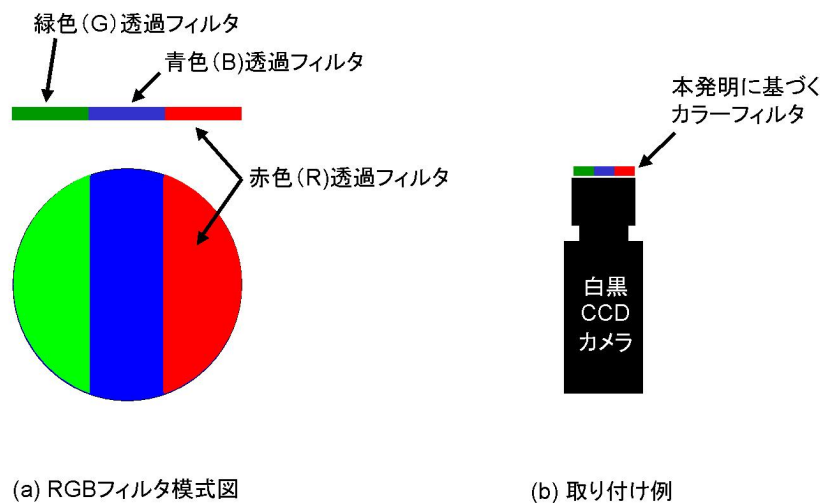


図1 本発明に基づくカラーフィルタ

図1に、本発明に基づく白黒監視カメラ用カラーフィルタを示す。全国に広く普及している白黒監視カメラに、色情報獲得能力を与えるカラーフィルタである。原価10円程度以下で製造可能である。なお、実際にカラー情報を得るには、後述のように、「事件後」に、所定の手順に従った計測とPCによる画像解析を実施することが必要である。

開発した方法の流れ：

- ・ 大量の簡易カラーフィルタの無料配布：たとえば、県警が100万円で10万個作成し、管轄内の白黒防犯カメラを設置しているパチンコ店などに無料で配布する。
- ・ 装着後の運用：カラーフィルタを装着した後も、これまでと同様な白黒画像が撮影・記録される。
- ・ 事件発生後の警察の処理：事件発生後、警察が、参照カラープレートなど機材一式を現場に持ち込み、「キャリブレーション」作業を行うことにより、容疑者の衣服の色を計算することができる。

記録画像復元研究会のホームページ（仮）：

<http://www.el.gunma-u.ac.jp/~fujii/Temp/ImageRestoration/index.html>